

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	福祉避難所運営事業			420289	担当課	高齢者福祉課		
	開始年度	平成18(2006)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	柴田 みどり			
	歳出費目	款) 民生費	項) 災害救助費	目) 災害救助費	決算附属資料	144	頁		
	施策の大綱	高齢者福祉の充実			関連計画等	-			
	施策名	高齢者の生きがいを創出する			根拠法令等	災害対策基本法及び福祉避難所の確保・運営ガイドライン(内閣府)			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	災害発生時に身体、知的、精神に障害のある人や重度の障害がある人など災害時要配慮者を受け入れできる環境を整備し、要配慮者の安心安全を確保する。							
	対象者	災害時要配慮者	対象者数	3,800	一人当たりコスト	0.49			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 福知山市民間社会福祉施設連絡協議会加入施設							
	事業概要	・平成30年度より、中央(ハピネスふくちやま)・3町各保健福祉センターの4箇所に公設福祉避難所を整備し、福祉の対応が行えるよう資材・物品を配備し、要援護者の受け入れ環境を整える。 ・災害時には受入施設の福祉避難所運営を福知山民間社会福祉施設連絡協議会加入施設へ委託するため、人件費相当を計上する。							
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		負担金補助及び交付金		福祉避難所運営負担金			2		
関連事業									
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30要求	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		750	750	1,030	475		
		補正予算等・・・②		0	0	0			
		繰越し等・・・③		0	0	0			
	財源内訳	一般財源		750	750	1,030	475		
		国支出金		0	0	0			
		府支出金		0	0	0			
		地方債		0	0	0			
		その他特財		0	0	0			
		特定財源名称 (H29実績)					頁 頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.03/0	0.14/0	0.14/0	/		
		概算人件費・・・④		240	1,120	1,120			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			990	1,870	2,150				
執行状況	執行額・・・⑥			0	2				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			0.0%	0.3%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		公設福祉避難所指定数	箇所	-	-	/4	4		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		要配慮者用資機材整備箇所数	箇所	-	-	/4	4		
		単位あたりコスト		0.0	0.0				
		単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	東日本大震災や熊本地震から明らかになった要配慮者の避難という課題解決のために必要性が高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	避難者対応にかかる費用のため、コスト削減の余地がない。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	今後、市の総合防災訓練及び他市防災訓練と連携・協力し、福祉避難所の開設・運営・設置訓練を行っていく。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	平成28年に福知山民間福祉施設連絡協議会と「福祉避難所（二次避難所）開設・運営ガイドライン」に基づき覚書を締結した。本覚書及び一般社団法人福知山民間社会福祉施設連絡協議会と福知山市で平成18年に締結した「災害時に要配慮者の避難施設として民間社会福祉施設等を使用することに関する協定」に基づき、平成29年の大雨災害時に要配慮者の避難所として開設を行った。今後は多くの避難者への対応や要配慮者の身体状況に対応するため、資機材整備等を行っていく。			
今後の課題及び方向性	今後は介護事業所等と個別に災害対応につき聞き取り等を行うほか、資機材の整備、防災訓練等を実施し、要配慮者が良好な避難生活を提供できるよう推進していく。			
庁内及び外部による評価	二次評価（庁内） 【行革担当課記入】	所見 ・福祉用の資機材の整備（配備）については、必要であるが、主体としては予算も含めて危機管理が行うべき（必要な資機材と位置づけた配備・管理を行うこと） ・人件費の計上については、当初予算で必ず上げるべきかどうかを検討すること ・危機管理室と運営について効率的、効果的な方法、あり方を協議されたい		
	三次評価（外部） 【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 資機材整備や運営の方法等について引き続き危機管理室と協議を行いながら、適切な災害対応について検討を行っていく。 <input type="checkbox"/> 人件費については、最低限の計上とし、必要に応じて補正等対応することとする。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況（対H30）	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	敬老会事業 (420208)			担当課	高齢者福祉課	
	開始年度	平成1(1989)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	柴田 みどり	
	歳出費目	款) 民生費	項) 社会福祉費	目) 老人福祉費	決算附属資料	126	頁
	施策の大綱	高齢者福祉の充実			関連計画等	-	
	施策名	高齢者の生きがいを創出する			根拠法令等	福知山市敬老会補助金交付要綱	
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	多年にわたり地域社会の進展に寄与し、豊富な知識と経験を有する高齢者を敬愛するとともに、長寿を祝うことを目的として市内各地域で開催される敬老会の主催者に対して支援を行う。また、80歳(傘寿)、88歳(米寿)、90歳(卒寿)及び99歳(白寿)を迎える長寿の方と最高齢者に対し、長寿御祝品の贈呈を行い、市民の敬老意識の高揚を図る。					
	対象者	70歳以上の高齢者	対象者数	17,036	一人当たりコスト	1.19	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>					
	事業概要	・敬老精神の涵養と長寿を祝い開催される敬老会の主催者に運営費の一部を補助する。 ・市内最高齢者・99歳(白寿)、90歳(卒寿)、88歳(米寿)及び80歳(傘寿)の高齢者に記念品を贈呈し、長寿をお祝いする。 ・99歳(白寿)は祝状等も併せて贈呈する。100歳以上には書簡を贈呈。					
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目	具体的な内容			H29経費	
	需用費	最高齢者や節目高齢者への祝品等			1,279		
	役務費	郵送料			99		
	敬老会補助金	940円×17,152人			16,123		
関連事業							
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算…①	20,813	18,406	19,569	20,049	
		補正予算等…②	0	0	0		
		繰越し等…③	0	0	0		
	財源内訳	一般財源	20,813	18,406	19,569	20,049	
		国支出金	0	0	0		
		府支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		その他特財	0	0	0		
		特定財源名称(H29実績)				頁	
					頁		
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.24/0	0.23/0	0.23/0	/		
	概算人件費…④	1,920	1,840	1,840			
総事業費(①+②+③+④)…⑤		22,733	20,246	21,409			
執行状況	執行額…⑥		20,640	17,501			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		99.2%	95.1%			
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		敬老会参加率	%	32 / 50	35 / 50	/ 50	50
				/	/	/	
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		市長来賓出席(代理含む)	回	42 / 42	42 / 42	/ 41	41
		単位あたりコスト		491.4	416.7		
			/	/	/		
	単位あたりコスト		0.0	0.0			

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	長寿を祝うという趣旨や地域行事として必要性が高い。自治会等の運営費用だけでは実施することは難しいため、必要性は高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	祝行事であり、地域でも主催者が一定の負担をしている状況である。ただし、高齢社会に伴い、年齢水準を上げる検討の余地はある。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	市のほぼ全ての地域で敬老会は継続して開催されており、長寿を祝うこと、敬老会の開催支援については達成できている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	敬老会の運営費の一部を補助することで、地域の敬老会が円滑に実施されている。また、市長による最高齢者訪問等の実施により、長寿の方々への感謝と敬意を表すことができていると考える。	
	今後の課題及び方向性	敬老会の開催支援については、敬老精神の涵養と長寿を祝うという趣旨からも引き続き行っていく必要があるが、高齢社会、平均寿命の上昇などを踏まえ、対象年齢水準を引き上げることなど補助金見直しの検討をする余地はある。祝品についても、平均寿命の上昇などから整理する必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見			
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<b>【H29棚卸しに係る見直し状況】</b> 対象年齢や事業目的等について検討し、事業目的を「敬老精神の涵養」と整理し事業名称をH31より「敬老事業」へ変更する。  <b>【来年度の方針】</b> H31年度より今後の敬老事業のあり方について関係者と意見交換を行う。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	老人クラブ活動費補助事業 (420209)			担当課	高齢者福祉課	
	開始年度	平成1(1989)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	柴田 みどり	
	歳出費目	款) 民生費	項) 社会福祉費	目) 老人福祉費	決算附属資料	126	頁
	施策の大綱	高齢者福祉の充実			関連計画等	-	
	施策名	高齢者の生きがいを創出する			根拠法令等	福知山市老人クラブ活動費補助金交付要綱	
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	各地域において活動している老人クラブの活動を支援し、円滑な事業実施を図る。地域の生きがいつくりや健康づくり、介護予防活動等、地域福祉の推進を図る。					
	対象者	市内高齢者	対象者数	23,090	一人当たりコスト	0.47	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>					
	事業概要	生きがいつくりや健康づくりなどの活動を行っている各地域の老人クラブに対して補助金を交付することで、その活動を支援する。					
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目	具体的な内容			H29経費	
	補助金	地域活動事業・視察研修参加事業			7,854		
	役務費	郵送料			27		
関連事業	老人クラブ連合会活動事業(高齢者福祉課)						
予算と執行の状況	区 分		H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①	9,064	9,222	9,787	9,082	
		補正予算等・・・②	0	0	0	0	
		繰越し等・・・③	0	0	0	0	
	財源内訳	一般財源	3,924	4,999	4,387	3,682	
		国支出金	0	0	0	0	
		府支出金	5,140	4,223	5,400	5,400	
		地方債	0	0	0	0	
		その他特財	0	0	0	0	
		特定財源名称 (H29実績)	在宅福祉事業費補助金		5,236	府補助金	22
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.31/0	0.19/0	0.19/0	/		
	概算人件費・・・④	2,480	1,520	1,520			
	総事業費(①+②+③+④)・・・⑤	11,544	10,742	11,307			
執行状況	執行額・・・⑥		8,457	7,881			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		93.3%	85.5%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単 位	H28	H29	H30	最終目標
		老人クラブ会員数	人	7,237/10,000	7,306/10,000	/10,000	10,000
				/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指 標	単 位	H28	H29	H30	最終目標
		出前講座	回	5 / 10	2 / 10	/ 10	10
		単位あたりコスト	1,691.4	3,940.5			
	普及啓発事業利用(H29～)	回	/	12 / 20	/ 20	20	
	単位あたりコスト	0.0	656.8				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	生きがい・健康・地域づくりに貢献している老人クラブ活動への支援は必要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	年間事業費のうち、補助金の占める割合は平均で20%を下回っており、支援の割合としては妥当と考える。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	地域における高齢者支援活動・見守り活動・生きがいづくり・地域交流を推進する上で、老人クラブへの支援は有効である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	高齢社会のもとでは、市内の各地域において生きがいづくり、健康づくり等の活動を行う高齢者の自主的な組織である単位老人クラブの活動は重要であり、その活動を支援していくことは高齢者福祉の増進という観点において有意義である。なお、活動実績の指標「普及啓発事業利用」について、普及啓発事業は平成29年度より実施されているため、平成28年度については記入していない。	
	今後の課題及び方向性	今後超高齢化社会において、市内の各地域でレクリエーション、スポーツ、清掃活動などの生きがいづくり、健康づくり等の活動を行う単位老人クラブの活動は非常に重要であり、高齢者と地域社会の交流、健康の増進、活動への参加による認知症予防などに大きく寄与していることから、平成29年度の変更内容の経過を見ながら補助のあり方について検討を行う。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<b>【H29棚卸しに係る見直し状況】</b> 平成30年度において、老人クラブの活動や必要経費など検証を行ったが、補助金等の見直しの懸案事項⑥により、事業費に基づく補助金額設定の見直しはH31においては行わない。  <b>【来年度の方針】</b> 補助のあり方については、H31年度より関係者との協議を開始する。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	



平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	老人クラブ連合会活動事業 (420210)			担当課	高齢者福祉課	
	開始年度	平成1(1989)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	柴田 みどり	
	歳出費目	款) 民生費	項) 社会福祉費	目) 老人福祉費	決算附属資料	126	頁
	施策の大綱	高齢者福祉の充実			関連計画等	-	
	施策名	高齢者の生きがいを創出する			根拠法令等	福知山市老人クラブ連合会補助金交付要綱	
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	健康・友愛・奉仕を活動の柱に「地域を豊かにする活動」や「安心安全なまちづくり」を積極的に展開している老人クラブ連合会の活動を支援することで、地域福祉、高齢者福祉の増進を図る。					
	対象者	市内高齢者	対象者数	23,090	一人当たりコスト	0.29	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 京都ユニオンサービス					
	事業概要	地域福祉活動等を積極的に展開している老人クラブ連合会に対して補助金を交付することで、老人クラブ連合会の円滑な事業運営を支援し、各地域の健康づくりや介護予防活動等、地域福祉の推進を図る。					
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目	具体的な内容			H29経費	
	補助金	活動費補助・大会等バス利用補助			4,714		
	需用費	燃料費			10		
	委託料	福祉バス委託料			36		
関連事業	老人クラブ活動費補助事業(高齢者福祉課)						
予算と執行の状況	区 分		H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①	5,170	4,715	4,715	4,835	
		補正予算等・・・②	0	46	0		
		繰越し等・・・③	0	0	0		
	財源内訳	一般財源	4,294	3,908	3,880	4,000	
		国支出金	0	0	0		
		府支出金	876	853	835	835	
		地方債	0	0	0		
		その他特財	0	0	0		
		特定財源名称 (H29実績)	在宅福祉事業費補助金		835	府補助金	24 頁
					頁		
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.32/0	0.25/0	0/0	/		
	概算人件費・・・④	2,560	2,000	0			
	総事業費(①+②+③+④)・・・⑤	7,730	6,761	4,715			
執行状況	執行額・・・⑥		5,018	4,760			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		97.1%	100.0%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		相互支援実施クラブ数	団体	65 / 150	59 / 150	/ 150	100
			/	/	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指 標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		相互支援連絡会の開催	回	2 / 2	2 / 2	/ 2	2
			単位あたりコスト	2,509.0	2,380.0		
連絡会における市の取組啓発		回	1 / 2	1 / 2	/ 2	2	
	単位あたりコスト	5,018.0	4,760.0				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	地域福祉の推進を図るためには、まちづくりを進める核となる団体への支援は必要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	老人クラブ連合会への支援を継続していく上で、地域福祉の推進がどの程度図れているか検証し、より効率的に支援をしていく必要がある。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	地域における高齢者支援活動、見守り活動、生きがいづくり、交流などを推進する上で老人クラブ連合会への支援は有効である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	成果としては、地域福祉の推進に十分に寄与していると考え、客観的な指標を今後検討することも必要と考え、連合会事務局と協議しながら、さらなる地域福祉の推進に向けた方策を検討する。連合会会員は微減しているが、地域福祉の他にも交通安全啓発や市の各種啓発事業等にも協力いただいているため、今後も支援を行っていく必要がある。	
	今後の課題及び方向性	近年老人クラブの会員が減少し、解散クラブが徐々に増えているが、老人クラブ連合会は、老人クラブへの研修実施やスポーツ大会等の企画・開催を通じ、老人クラブへの活性化を目的に活動を行っている。また、交通安全啓発や市の各種啓発事業等にも協力いただいていることから、その貢献は大きく、今後も継続して老人クラブ連合会の円滑な事業運営への支援を行っていく必要がある。補助のあり方については、事業内容や事業効果等を検証する中で検討を行う。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見		
三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見			
来年度方針	担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<b>【H29棚卸しに係る見直し状況】</b> 平成30年度において、老人クラブ連合会の事業内容や事業効果等の検証を行ったが、補助金等の見直しの懸案事項⑥により、事業費に基づく補助金額設定の見直しはH31においては行わない。  <b>【来年度の方針】</b> 会員数・加入クラブ数増加へのインセンティブとなる方法等、H31年度より今後の補助のあり方について関係者を含めた検討を開始する。	
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】		
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		



平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	屋根雪おろし等費用助成事業 (420258)			担当課	高齢者福祉課	
	開始年度	平成23(2011)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	柴田 みどり	
	歳出費目	款) 民生費	項) 社会福祉費	目) 老人福祉費	決算附属資料	130	頁
	施策の大綱	高齢者福祉の充実			関連計画等	-	
	施策名	高齢者の生きがいを創出する			根拠法令等	屋根雪おろし等費用助成金交付要綱	
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	豪雪時における家屋の屋根及び避難路等の必要最低限度の除雪を自力ですることが困難な高齢者等に対し、他の者に費用を支払って除雪をした場合に当該費用の助成を行い、安全確保と不安感の緩和を図る。					
	対象者	高齢者のみの世帯等	対象者数	2,561	一人当たりコスト	0.07	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>					
	事業概要	雪おろし等に係る費用の助成を行う。 ・概ね70cm以上積雪があった場合で、除雪をしなければ財産の損失や身体の危険がある場合に限る(所得要件あり)。 ・かかった費用の2分の1の額(上限2万円)を補助金として交付					
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目	具体的な内容			H29経費	
	補助金	雪おろし助成金×1人(上限20,000円)			8		
関連事業							
予算と執行の状況	区 分		H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算…①	0	0	0	320	
		補正予算等…②	320	8	0		
		繰越し等…③	0	0	0		
	財源内訳	一般財源	320	8	0	320	
		国支出金	0	0	0		
		府支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		その他特財	0	0	0		
		特定財源名称 (H29実績)				頁 頁	
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.02/0	0.02/0	0.02/0	/		
	概算人件費…④	160	160	160			
総事業費(①+②+③+④)…⑤		480	168	160			
執行状況	執行額…⑥		320	8			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	100.0%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		受給者	人	16/16	1/1	/	
				/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指 標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		広報ふくちやま・広報カード回数	回	1/1	1/1	/1	1
		単位あたりコスト		320.0	8.0		
			/	/	/		
	単位あたりコスト		0.0	0.0			

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	高齢者のみの世帯では、豪雪時に自力で除雪を行うことが難しいため、問い合わせが多く、ニーズは高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	×	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	地域での共助による取り組みやボランティアによる除雪活動を促していくことも必要である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	高齢者のみの世帯等では、豪雪時に自力で除雪を行うことが難しく、家屋の倒壊や身体の危険の可能性があるため、低所得者に対する除雪支援は有効である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	災害時の対応となるため、指標の設定は難しく、達成状況について、評価しがたい。		
今後の課題及び方向性	高齢者のみの世帯等では、豪雪時に自力で除雪を行うことが難しく、家屋の倒壊や身体の危険の可能性があるため、低所得者に対する除雪支援は有効であり、今後も必要な支援を行っていく。			
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	高齢者のみの世帯等では、豪雪時に自力で除雪を行うことが難しく、家屋の倒壊や身体の危険の可能性があるため、低所得者に対する除雪支援は有効であり、在宅高齢者等の豪雪時における安全確保と不安感の緩和を図るため、今後も支援を行っていく。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	在宅高齢者福祉関連事務事業			420237	担当課	高齢者福祉課		
	開始年度	平成1(1989)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	柴田 みどり			
	歳出費目	款) 民生費	項) 社会福祉費	目) 老人福祉費	決算附属資料	128	頁		
	施策の大綱	高齢者福祉の充実			関連計画等	第7次高齢者保健福祉計画			
	施策名	高齢者の生きがいを創出する			根拠法令等	介護保険法			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	円滑な事務の推進を図る。(各事業実施のための一般事務費)							
	対象者	全高齢者	対象者数	23,090	一人当たりコスト	0.17			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>							
	事業概要	在宅福祉関連の旅費・消耗品・郵送料等の一般事務費							
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		賃金		臨時職員賃金			1,280		
消耗品		事務用品等			715				
役務費		郵送料及び電話代			213				
関連事業									
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		3,006	3,278	3,408	3,419		
		補正予算等・・・②		0	0	0			
		繰越し等・・・③		0	0	0			
		財源内訳	一般財源		3,006	3,278	3,408	3,419	
			国支出金		0	0	0		
			府支出金		0	0	0		
			地方債		0	0	0		
	その他特財		0	0	0				
	特定財源名称 (H29実績)					頁			
					頁				
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.11/0	0.08/0	0./0	/			
	概算人件費・・・④		880	640	0				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			3,886	3,918	3,408				
執行状況	執行額・・・⑥		1,963	2,208					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		65.3%	67.4%					
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		臨時職員配置数	人	1/1	1/1	/1	1		
		単位あたりコスト		1,963.0	2,208.0				
		単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	円滑な事務の推進のため必要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	事務用品費、電話料等の必要経費であり、コスト削減は難しい。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	円滑な事務の推進のため必要である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	本事業については、高齢者福祉課における一般管理事業であるため、各種事務事業の円滑な推進及び事業実施のため引き続き必要である。(定性的評価)	
	今後の課題及び方向性	円滑な事務の推進及び事業実施のため引き続き必要な事業である。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> ・事務に関わるだけなら事業名の変更を(このままでは紛らわしい)		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p> <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p style="font-size: 1.2em;">【一般管理事業】への名称変更予定。</p>	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	介護予防普及啓発事業 (420531)			担当課	高齢者福祉課		
	開始年度	平成29(2017)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	柴田 みどり		
	歳出費目	款) 地域支援事業費	項) 介護予防・生活支援サービス事業費	目) 介護予防・生活支援サービス事業費	決算付属資料	頁		
	施策の大綱	高齢者福祉の充実			関連計画等	第7次高齢者保健福祉計画		
	施策名	高齢者の生きがいを創出する			根拠法令等	介護保険法		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	65歳以上の者を対象に、できるだけ要介護状態等になることを予防し、一人ひとりが生きがいや役割を持って生活できる地域を構築することにより、介護予防を推進する。						
	対象者	65歳以上の高齢者	対象者数	23,074	一人当たりコスト	0.75		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>						
	事業概要	・介護予防の基本的知識を普及するためのパンフレット等の作成・配布 ・介護予防の普及啓発に資する運動、栄養、口腔等に係る介護予防教室等の開催						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		賃金		事業に出務する介護福祉士・看護師の賃金			3713	
報償費		運動指導員・歯科衛生士・栄養士等の講師への報償費			912			
需用費		教室材料代や燃料費			140			
備品購入費		自動血圧計			13			
関連事業	介護予防・生活支援サービス、地域介護予防活動支援							
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		0	6,999	5,622	5,319	
		補正予算等・・・②		0	0	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0		
	財源内訳	一般財源		0	874	703	665	
		国支出金		0	1,750	1,405	1,237	
		府支出金		0	875	705	665	
		地方債		0	0	0		
		その他特財		0	3,500	2,809	2,752	
		特定財源名称 (H29実績)	地域支援事業交付金		956	国庫補助	頁	
		地域支援事業交付金		597	府補助	頁		
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0/0	1.25/0.1	0/0	/		
	概算人件費・・・④		0	10,250	0			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			0	17,249	5,622			
執行状況	執行額・・・⑥		0	4,783				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		#DIV/0!	68.3%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		65歳以上新規認定申請者割合	%	/	4.5/4.9以下	/4.5以下	4.5以下	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		教室開催回数	回	/	589/588	/619	619	
		単位あたりコスト		0.0	0.0			
		教室会場数	箇所	/	100/77	/77	77	
単位あたりコスト		0.0	0.0					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	介護給付費抑制に向けた介護予防の取組みは必須である。保健師等が住民ニーズ等の把握につ努めているが、更に市民が主体的に取組める仕組み作りが必要。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	本市では利用料をとらずに実施しているが、全国的に見ると利用料をとる市町村もあるため検討が必要。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	他市の動向も踏まえつつ、元気な高齢者を増やすため、サロンや老人会等を対象に事業を実施している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	従来の介護予防事業を見直し、地域の拠点となる会場と各団体からの依頼に応じ出向いて実施している。市オリジナル体操、栄養、口腔等の内容で実施しているが、新規会場の参加者数も徐々に増加し、地域に定着しつつある。従来の団体の継続実施もできている。	
	今後の課題及び方向性	実施できていない地域があるため、地域の現状把握とともに他の関連事業も含めた情報提供や健康づくりや介護予防への取組みの必要性を理解してもらえよう働きかけが必要である。また、仲間づくりや生きがいづくりを通じて、高齢者が地域で活躍し、主体的に取り組み支えあう地域づくりを目指す。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見		
三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見			
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分  <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内容  29年度から介護予防事業全体を見直し実施しているが、地域に定着し参加者数の増加も見られるため、今後も継続実施を行っていく。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)  <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	



平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	地域介護予防活動支援事業 (420540)			担当課	高齢者福祉課		
	開始年度	平成29(2017)	終了予定年度	平成37(2025)	作成責任者	柴田 みどり		
	歳出費目	款) 地域支援事業費	項) 介護予防・生活支援サービス事業費	目) 介護予防・生活支援サービス事業費	決算付属資料	頁		
	施策の大綱	高齢者福祉の充実			関連計画等	未来創造 福知山		
	施策名	高齢者の生きがいを創出する			根拠法令等	介護保険法		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	年齢や心身の状況等によって高齢者を分け隔てることなく、誰でも一緒に参加することのできる介護予防活動の地域展開を目指して、住民主体の通いの場を充実させ、人と人のつながりを通じて、参加者の通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進していく。						
	対象者	市内高齢者	対象者数	23,090	一人当たりコスト	0.94		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>						
	事業概要	・介護予防に関するボランティア等の人材を育成するための研修 ・介護予防に資する多様な地域活動組織の育成及び支援 ・社会参加活動を通じた介護予防に資する地域活動の実施						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		報償費		貯筋体操講師報償費			654	
		賃金		臨時職員賃金			1568	
需用費		消耗品費			72			
役務費		郵送料			57			
負担金補助及び交付金		介護支援サポーター活動転換交付金			184			
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		0	5,036	4,391	4,110	
		補正予算等・・・②		0	0	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
		財源内訳	一般財源		0	629	548	4,110
			国支出金		0	1,259	1,098	956
			府支出金		0	630	549	514
			地方債		0	0	0	0
			その他特財		0	2,518	2,196	2,640
			特定財源名称 (H29実績)	地域支援事業交付金		608	国庫補助	頁
		地域支援事業交付金		380	府補助	頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0/0	1.98/0.3	0/0	/	
		概算人件費・・・④		0	16,590	0		
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			0	21,626	4,391			
執行状況	執行額・・・⑥		0	3,043				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		#DIV/0!	60.4%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		介護支援サポーターのべ活動時間	時間	2096/2500	2100 /2500	/2500	3000	
		貯筋体操のべ参加者数	人	869/	1600/1200	/2200	3000	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		介護支援サポーター登録人数	人	135/140	138/140	/170	200	
		単位あたりコスト		0.0	22.1			
		貯筋体操実施団体数	団体	37/	57/50	/80	110	
単位あたりコスト		0.0	53.4					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	将来的には市民自ら各地域で体操等を実施できる場を増やしていくため、市民を対象とした体操指導者育成講座を併せて実施している。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	×	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	貯筋体操教室の利用については、2年目以降有料としている。これは有料になることで市に体操を依頼することなく、自らの地域で指導者を養成し実施してもらうためである。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	地域の通りの場の活性化、体操の習慣付けが大きな目的である。体操のエビデンスについては、週1回実施している集約型の教室で調査を行う。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	・出向き型事業(貯筋体操)については、実施団体数及びのべ参加者数が前年に比べ大幅に増加した。また、体操指導者についても市民43人が育成講座を修了し、来年度以降、地域で自ら指導者として体操を実施していくことになる。	
	今後の課題及び方向性	・出向き型事業(貯筋体操)については、2年目以降有料となるため、利用団体数が減少することが考えられることから、体操指導者を更に増加させるなど体操を継続していただくための工夫が必要である。 ・出向き型事業や普及啓発事業の利用がされていない地区があるため、未実施地区へ重点的に啓発を行っていく必要がある。 ・介護支援サポーターについては、サポーターの高齢化が進み、活動者数が減少傾向にあり、新規登録者の増加や既存登録者の活動継続のための工夫等が求められる。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	地域の情報収集に努め、高齢者の集いの場、体操の場の確保、拡大に向けて引き続き取り組んでいく。	
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	介護相談員活動事業 (420552)			担当課	高齢者福祉課		
	開始年度	平成13(2001)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	柴田 みどり		
	歳出費目	款) 地域支援事業費	項) 包括的支援事業・任意事業費	目)	任意事業費	決算付属資料	頁	
	施策の大綱	高齢者福祉の充実			関連計画等	-		
	施策名	高齢者の生きがいを創出する			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	介護事業所等を訪問する介護相談員の活動に対し、報償費を支払う。						
	対象者	介護相談員	対象者数	12	一人当たりコスト	269.67		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>						
	事業概要	市が委嘱した介護相談員が、市内の介護保険施設や介護サービス事業所等を訪問し、施設や事業所の利用者からサービス提供に当たっての苦情や相談を聞き取り、利用者本位のサービスが適正に提供されているか否かを中立的な立場で判断し、必要に応じて施設・事業所に改善を要望してもらうとともに、市にサービス提供の現状について情報提供をしてもらう。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		報償費		介護相談員活動にかかる報償 3,850円/回			1917	
役務費		介護相談員に係る活動保険料			17			
需用費		名札等購入費			4			
関連事業								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		2,356	2,356	2,458	2,462	
		補正予算等・・・②		0	0	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0		
	財源内訳	一般財源		460	459	473	474	
		国支出金		919	919	947	948	
		府支出金		459	459	473	474	
		地方債		0	0	0		
		その他特財		518	519	565	566	
		特定財源名称 (H29実績)	地域支援事業交付金			755	国庫補助	頁
			地域支援事業交付金			377	府補助	頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.05/0	0.11/0	0.11/0	/	
概算人件費・・・④		400	880	880				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			2,756	3,236	3,338			
執行状況	執行額・・・⑥		1,807	1,938				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		76.7%	82.3%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		延べ活動回数	回	428/576	498/576	/	576	
		報償費	千円	/	1917/2218	/	2218	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		活動施設数	施設	42/42	42/42	/	42	
		単位あたりコスト		43.0	46.1			
		回	/	/	/			
	単位あたりコスト		0.0	0.0				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	介護サービスは閉ざされた空間で行われ、第3者のチェックが入りにくい。そのため介護相談員が各施設や事業所を回り、第3者の視点からチェックを行うことの意味は大きい。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	介護相談員への報償費は1日3850円である。金額的には妥当と考えている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	介護相談員から毎月の活動実績報告書を提出してもらい、施設の問題点等があればそれを施設へ報告するなど介護の現場にアウトプットできている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	介護相談員に報償を支払うことで、活動の支援を行っており、事業目的を果たしていると思われる。	
	今後の課題及び方向性	介護サービス事業所は増加傾向にあるため、訪問施設数がさらに増加する場合には、介護相談員も増やしていく必要があるが、人材確保が困難という課題がある。介護相談員は市民目線から利用者との直接の対話を通じ、課題・ニーズを拾い上げることができ、介護事業所及び行政の橋渡し役となっていることから、本事業の有効性は高く、今後も継続的に本事業を実施していく必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	現行どおりが妥当と考える。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	生活支援・介護予防サービス基盤整備事業 (420581)			担当課	高齢者福祉課		
	開始年度	平成29(2017)	終了予定年度	平成37(2025)	作成責任者	柴田 みどり		
	歳出費目	款) 地域支援事業費	項) 包括的支援事業・任意事業費	目) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費	決算付属資料	頁		
	施策の大綱	高齢者福祉の充実			関連計画等	第8次福知山市高齢者保健福祉計画		
	施策名	高齢者の生きがいを創出する			根拠法令等	介護保険法		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	高齢化が進展するなか、住み慣れた地域で自分らしい生活を続けていくため住民どうしの支えあいの体制づくり(生活支援体制)を構築する。 要支援1・2の軽度者向けサービスが地域支援事業に移行する中で、生活支援や介護予防サービスの基盤整備を行うために地域の資源開発やサービス・支援の担い手を養成していく等地域の支え合い推進員(コーディネーター)を配置していき、日常生活上の支援体制を整備するものである。						
	対象者	市内高齢者	対象者数	23,090	一人当たりコスト	0.62		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 地域協議体						
	事業概要	生活支援や介護予防サービスの基盤整備を行うために地域の資源開発やサービス・支援の担い手を養成していく等地域の支え合い推進員(コーディネーター)を配置していき、生活支援体制整備の支援体制を整備していく。 コーディネーターは、市立中学校区9か所に順次配置することとし、平成30年度は2か所での生活支援体制整備の構築及び配置をめざす。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		報償費		生活支援コーディネーター報償費			30	
旅費		会議・研修等参加旅費			34			
賃金		臨時職員賃金			1188			
関連事業	高齢者日常生活支援事業							
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		8,658	11,615	10,724	20,086	
		補正予算等・・・②		0	0	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
	財源内訳	一般財源		1,688	2,267	2,065	3,867	
		国支出金		3,377	4,529	4,128	7,733	
		府支出金		1,688	2,264	2,064	3,866	
		地方債		0	0	0	0	
		その他特財		1,905	2,555	2,467	4,620	
		特定財源名称 (H29実績)	地域支援事業交付金		488	国補助	頁	
		地域支援事業交付金		244	府補助	頁		
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0/0	0.35/0	0/0	/		
	概算人件費・・・④		0	2,800	0			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			8,658	14,415	10,724			
執行状況	執行額・・・⑥		0	1,252				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		0.0%	10.8%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		支え合いサービス提供地域	地域	0/0	0/1	/2	9	
		サービス検討地域	地域	1/1	3/3	/3	9	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		生活支援コーディネーター	人	0/0	2/2	/1	1	
		単位あたりコスト		0.0	626.0			
地域支援コーディネーター設置	地域	0/0	0/2	/2	9			
地域	単位あたりコスト		0.0	0.0				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	将来介護認定における軽度者が介護保険サービスを利用できなくなる将来を見据えて、住民同士の支え合いの仕組みづくりを行っていく必要がある。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	住民が主体的に仕組みづくりを行っていく活動に対して十分な財政支援を行っていく必要がある。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	現在はサービス構築に向けて地域で話し合いが行われているところであり、市やコーディネーターも必要に応じて地域の検討の場に出向き、取り組み支援を行っている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	年度当初に市内各地域の地区福祉推進協議会の総会等に参加し、支え合いの仕組みづくりについての啓発を実施。平成27年度より夜久野地区、平成29年度より惇明地区、成仁地区において、支え合いの仕組みづくりに向けて毎月検討会が開かれている。検討会議には市担当者が出席し、取り組み支援を行っている。	
	今後の課題及び方向性	現時点では市内3地区で住民主体による取り組み検討が行われているが、今後全市的に取り組みを広げていく必要がある。そのためには、地域において、地域資源や課題・ニーズ把握、サービスの仕組みづくりを行う地域支援コーディネーターを各日常生活圏域に配置していくが必要である。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分  <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内 容  日常生活圏域の再編に伴い、各地域包括支援センターへ生活支援コーディネーターを配置し、更なる生活支援体制整備の推進を図っていく。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)  <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	



平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	シルバー人材センター支援事業 (420102)			担当課	生活交通課		
	開始年度	昭和60(1985)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	横山 晋		
	歳出費目	款) 労働費	項) 労働費	目) 労働諸費	決算附属資料	166	頁	
	施策の大綱	高齢者福祉の充実			関連計画等	-		
	施策名	高齢者の生きがいを創出する			根拠法令等	福知山市高齢者労働能力活用事業費等補助金交付要綱		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	高齢者の就業機会の増大と福祉の増進(生きがいを得る)を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある社会づくりに寄与する。						
	対象者	公益社団法人福知山市シルバー人材センター	対象者数	721	一人当たりコスト	28.99		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉						
	事業概要	60歳以上の高齢者が会員として構成され、高齢者に就業の機会を提供する公益社団法人福知山市シルバー人材センターの運営費及び各種事業に対して助成する。(補助金交付)						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		補助金		運営費等補助			17,019	
負担金		全国・京都府シルバー人材センター賛助会費			100			
役務費		保険料(建物総合損害共済共済基金分担金)			7			
需用費(消耗品)		プリンタトナー、リソグラフィンク			16			
関連事業	シルバー人材センター関連事業							
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		18,910	17,142	17,138	17,137	
		補正予算等・・・②		0	0	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
		財源内訳	一般財源		18,501	16,336	16,616	16,610
			国支出金		0	0	0	0
			府支出金		0	0	0	0
			地方債		0	0	0	0
			その他特財		409	806	522	527
			特定財源名称 (H29実績)	土地貸付収入		298		頁
		土地建物貸付収入		229		頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.55/0	0.47/0	0.47/0	/	
概算人件費・・・④		4,400	3,760	3,760				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			23,310	20,902	20,898			
執行状況	執行額・・・⑥		18,910	17,142				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	100.0%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		シルバー会員数	人	709 / 720	721 / 720	/ 720	740	
				/	/	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		業務受注件数	件	5817 / 6610	5593 / 5817	/		
		単位あたりコスト		3.3	3.1			
				/				
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	今後、ますます進行する高齢化社会において、元気な高齢者の就労による社会参加は、地域活力の向上とともに、高齢者福祉の視点からも重要であり、高齢者に対し就業機会の提供を行うシルバー人材センターの運営を引き続き支援する必要がある。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	シルバー人材センターは業務拡大に向け、独自事業の展開などに積極的に取り組んでいるが、現行の運営基盤を維持できるよう市が支援を行っていく必要がある。市は国・府との協調補助として、補助金を交付しており、29年度は10%の補助金削減を行う。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	シルバー人材センターは高齢者に対し就業機会を提供し、高齢者の生きがい創出や健康増進に寄与し、さらにボランティア活動の積極的な取り組みなどによる地域社会への貢献度も大きい。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	平成29年度からシルバー人材センター関連事業と統合し、補助金を10%削減した。 18,910千円⇒17,019千円 少子高齢化の進展や生産年齢人口の減少に伴う労働力不足の中、高齢者の雇用環境も厳しくなっている。シルバー人材センターは高齢者の就労の場、生きがいの充実を図る場として大変重要な役割を担っており、会員の能力と希望に応じた公平で適正な就業機会を提供できるよう努めている。		
今後の課題及び方向性	再雇用、定年の延長等、60歳以降の人生の選択肢が増えたことにより、シルバー人材センターの会員数が減少傾向にあるが、今後、ますます進行する高齢化社会において、元気な高齢者の就労による社会参加は、地域活力の向上とともに、高齢者福祉の視点からも重要である。シルバー人材センターについては、自立されることが望ましい形ではあるが、国府と協働する中で、市として高齢者に対し就業機会の提供を行うシルバー人材センターの運営を引き続き支援する必要がある。			
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	・補助金に頼らない自立した事業経営を目指すことは望ましいことであるが、シルバー人材センターは、「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」の主旨に基づき設置されているもので、法律の中には、国や地方公共団体の「責務」や「講ずる措置」がうたわれている。シルバー人材センターに対しては、国や府から補助金が交付されており、市も国・府との協調補助として補助金を交付している。 ・公益社団法人福知山市シルバー人材センターに対する市補助金は、29年度は28年度の補助金額18,910千円から1割削減し、17,019千円とした。平成30年度の市補助金は、29年度の額と同額とした。 ・今後においても制度改正等が行われない限りは、国・府に協調して補助金の交付を行うが、金額については事業棚卸しの結果を受け、前年度決算の経常利益によっては減額または補填を行う方向で調整する。	
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		